

[成果情報名]タマネギ新品種「マーキュリー3号」の特性

[要約]「マーキュリー3号」は特別栽培の施肥体系で6t/10aの収量を確保できる。可販収量は「七宝早生7号」より5~10%低く、「レクスター1号」より1~9%高い。収穫時期は「七宝早生7号」よりも1週間早く、「レクスター1号」より1週間遅く、2週間収穫が遅れても扁平化しない。

[キーワード]「マーキュリー3号」、「レクスター1号」、「七宝早生7号」、特別栽培、諫早湾干拓地

[担当]長崎県農林技術開発センター・干拓営農研究部門

[連絡先]電話(直通)0957-35-1272

[区分]野菜、総合・営農(干拓)

[分類]指導

[作成年度]2016年度

[背景・ねらい]

諫早湾干拓地ではタマネギの生産が盛んに取り組まれており、極早生から晩生まで幅広い作型が栽培されている。極早生・早生品種の種子は供給が不安定で、種子の確保が困難な場合があり、諫早湾干拓地でも栽培可能な極早生・早生品種が求められている。また、作型を分散させる点からも安定した収量を確保できる品種が求められている。

そこで、新品種「マーキュリー3号」について、栽培特性および作型・品質を、早生の代表的な品種「七宝早生7号」、極早生の代表的な品種「レクスター1号」と比較調査する。

[成果の内容・特徴]

新品種「マーキュリー3号」は、

1. 2013~2016年の4年間の総収量が6,653~7,804kg/10a、可販収量が5,834~7,701kg/10aであり、特別栽培基準の施肥体系で諫早湾干拓地のタマネギの青果目標収量6,000kg/10aをおおむねクリアできる(表1)。
2. 「七宝早生7号」より2L・Lの割合がやや少ないため可販収量は5~11%低く、「レクスター1号」より2L・Lの割合がやや多いため可販収量は1~9%高い(表1、図1)。
3. 「七宝早生7号」より収穫日が約1週間早く、「レクスター1号」よりも約1週間遅いため、極早生と早生の間の品種といえる(表1)。
4. 適期より1週間早く収穫しても、2週間遅く収穫しても、(球径/球高)に有意な差は無く、扁平化はしない。また、収量にも大きな差は無い(表2)。

[成果の活用面・留意点]

1. 2016年「マーキュリー3号」「レクスター1号」の規格外は抽台によるものである。
2. 新品種「マーキュリー3号」は八江農芸の品種である。
3. 収穫は70~80%倒伏から約1週間後を目安に実施し、適期収穫とした。
4. 本試験は諫早湾干拓地で実施した試験である。

[具体的データ]

表1 「マーキュリー3号」と対照品種との比較

収穫年	品種	総収量 (kg/10a)	可販収量 (kg/10a)	商品化率 (%)	対照品種比(%)		定植日	収穫日	1個重 (g)
					総収量	可販収量			
2013	マーキュリー3号	6,653	6,590	99	94	95	11/27	5/2	250
	七宝早生7号	7,052	6,945	98	-	-	11/27	5/8	264
2014	マーキュリー3号	7,804	7,701	99	90	89	11/22	5/1	293
	七宝早生7号	8,685	8,685	100	-	-	11/22	5/7	326
2015	マーキュリー3号	6,970	6,553	94	101	101	11/11	4/28	261
	レクスター1号	6,920	6,484	94	-	-	11/11	4/23	260
2016	マーキュリー3号	7,782	5,834	75	127	109	11/11	4/25	292
	レクスター1号	6,127	5,362	88	-	-	11/11	4/15	230

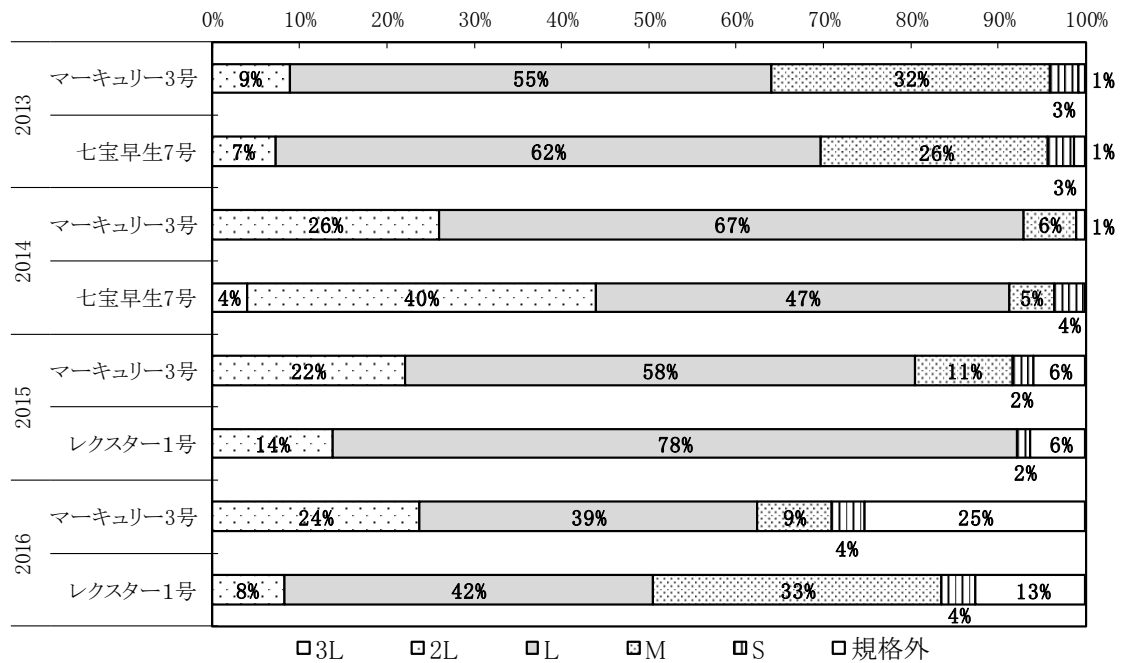


図1 規格割合 (重量)

表2 「マーキュリー3号」の収穫時期の違いによる収量および球形の違い (2015年)

収穫時期	総収量 (kg/10a)	可販収量 (kg/10a)	球径 (mm)	球高 (mm)	球径 /球高 ²
1週間前 4/21	6,893	6,686	83.5	70.1	1.19 a
適期収穫 4/28	6,970	6,553	84.0	70.7	1.19 a
2週間後 5/11	7,115	6,644	88.6	70.3	1.26 a

²同列の同符号間にはTukeyの多重検定により5%水準で有意差なし

[その他]

研究課題名：大規模環境保全型農業生産技術体系の構築
 予算区分：県単
 研究期間：2012-2016年度
 研究担当者：平山裕介
 既発表論文等：なし

耕種概要

- ・栽植本数 26,666 本/10a
(株間 10cm、条間 20cm、4 条植)
- ・黒マルチ栽培
- ・施肥 N-18kg/10a
(特栽基準の施肥: 硫安 N-9kg/10a、
油かす N-13kg/10a(分解率 70%))